



Flash News

三重大学

第47号

目次

- 三重大学伊賀拠点設置協定書の調印式
- 三重大学振興基金特別寄附者銘板除幕式
- 白衣授与式
- 「第10回環境コミュニケーション大賞」表彰式に出席
- 三重大学学術機関リポジトリ研究教育成果コレクションの正式運用開始

お知らせ&ご報告

- SO(School of Internet)Asiaプロジェクトの特別セミナーを発信
- 「学生対応ガイドブック」刊行
- 第2回パンゲアアクティビティ
- 三重県中部地震の被害について
- 国際交流センターから
- 広報チームから

三重大学伊賀拠点設置協定書の調印式

三重大学伊賀拠点設置協定書 調印式 三重大学・伊賀市



豊田学長

今岡伊賀市長

4月25日、伊賀市役所で豊田学長、今岡市長をはじめ関係者の出席のもと本学と伊賀市は三重大学伊賀拠点設置に関する協定の調印式を行いました。三重大学伊賀拠点では、大学と地元企業との共同研究や新事業を支援するインキュベート機能の設置等、産学官連携活動が計画されています。なお、拠点となる施設は、伊賀市によって伊賀市ゆめが丘地内に建設され、平成20年5月頃に開設する予定です。今後、双方が協力して具体的な連携活動を協議していくこととなります。

三重大学振興基金特別寄附者銘板除幕式

4月6日、三翠ホールにおいて標記除幕式が行われました。これは、三重大学振興基金へ多額のご寄附をいただいた方々のご芳名が刻まれた銘板を、三翠ホールホワイエに掲示し謝意を表するものです。

除幕式は、本学役員および部局長等約30名の出席のもと、学長とご寄附いただいた方々を代表して加藤岡三ホールディングス(株)取締役会長・岡三証券(株)取締役名誉会長により執り行われ、その後学長から御礼の挨拶がありました。



加藤取締役会長

豊田学長

白衣授与式



「胸が熱くなるほどの感動を覚えた」との声が聞かれました。

3月30日、医学部では新5年生の診療参加型臨床実習がスタートするにあたり、学長出席のもと、白衣授与式が三翠ホールにおいて開催されました。この儀式は、医師の卵として臨床現場に入るという節目に、医師としてのあり方(professionalism)について深く考える機会を与えることを目的としています。式では、先輩医師としての教員から厳かに白衣を着せてもらい、ヒポクラテスの誓いを唱えました。今回は最初の式であり、米国Gold財団の援助を得て行われ、約65名の父兄や臨床教授が招待参加しました。式終了後に開催されたレセプションでは、多くの学生から「身が引き締まる思いをした」との感想が、父兄からは

「第10回環境コミュニケーション大賞」表彰式に出席

3月26日、日本教育会館一ツ橋ホール(東京都)で開かれた標記表彰式に、本学より渡邊悌爾副学長(現:特命学長補佐)と朴 恵淑環境ISO推進室長(現:学長補佐)らが出席しました。式は、土屋品子環境副大臣が出席されるなか、厳かに行われました。この受賞は本学の環境マネジメントシステムの構築等、学内全体を上げて取り組んだ成果が高く評価されたものであり、ISO14001認証取得に向けて励みとなるものです。詳しくは、<http://www.gef.or.jp/eco-com/>をご覧ください。



三重大学学術機関リポジトリ研究教育成果コレクションの正式運用開始

3月29日、学術情報ポータルセンターでは、標記コレクション（愛称：MIUSE）（<http://miuse.mie-u.ac.jp/>）を公開しました。これは、紙媒体の資料を蓄積してきた図書館機能の電子版として、本学の研究・教育成果を電子的に蓄積・保存するもので、Googleなどのインターネットの検索エンジンを経由したアクセスを通じて、研究論文等の可視性が飛躍的に向上することが期待されます。本学の取り組みは、平成18年度の国立情報学研究所の次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業に採択され、システムの構築とコンテンツの登録を進めてきたものです。全国の大学の中でも非常に高い評価を受け、平成19年度についても継続事業として予算配分を受けることが決定しています。



SOI (School of Internet) Asiaプロジェクトの特別セミナーを発信

3月27日、「SOI Asia Disaster Management Special Seminar」として、国際交流センターの研究でもある包括的災害科学についてのセミナーを本学から発信しました。このプロジェクトは衛星を利用したインターネット基盤での教育プログラムの実施で、今回はインドネシア、タイ、バングラディシュ、カンボジア、日本の計8大学が参加しました。テーマは「Emergency care and long term recovery process」（司会：櫻井しのぶ教授・医学部&国際交流センター）で、丸山一男教授・大学院医学系研究科、川口 淳准教授・大学院工学研究科、中川一郎客員教授・国際交流センター、本多 潔客員准教授・アジア工科大学院大学&国際交流センターの実演を交えたプレゼンテーションの後、アジアの各大学との活発な質疑応答が行われました。平成19年度も引き続き本学からの講義が期待されています。

「学生対応ガイドブック」刊行



昨今、学生が多様化しているなかで、大学には学生の抱える困難や悩みに対する支援体制の充実がますます求められています。これまで、学生と日々接する教職員の皆さんは、「どうやって学生と接したらいいのか」「どう対処したらいいのか」等と悩んだり判断に迷われたりした経験があるのではないのでしょうか。そこで、学生総合支援センターでは、この度、教職員を対象とした「学生対応ガイドブック」（初版）を作成しました。この冊子では、教職員が学生支援をする際に感じるであろういくつかの疑問と、それに対する考え方の一例をQ&A形式で示してあります。学生に対応する際の参考にしていただければ幸いです。

第2回パンゲアアクティビティ

「フラッシュニュース第44号」で紹介した「国際教育推進プラン」（世話人：松岡守教授・教育学部）に伴う標記の活動が、3月10日にメディアホールで開催されました。今回は、本学学生、津市の外国語指導助手（ALT）等がファシリテータとなり、中核校・協力校から20名の子供たちが参加しました。日韓の子供たちは、IT技術を活用し、リアルタイムで「こえつな」「色マッチングゲーム」「名前言うかな」等のゲーム活動（同期アクティビティ）を行いました。当日、松岡教授ほか津市内の小学校の先生方4人は、韓国の活動拠点センター（Mizyセンター）を訪問し、この活動の様子を韓国サイドから視察しました。



三重県中部地震の被害について

4月15日、三重県北部・中部で発生した地震において、本学の学生、教職員および土地、建物に重大な被害はなかったものの、ガラスの割れ、建築二次部材の落下等がありました。また、地震のための安全装置が働き、エレベータの自動停止、ガス供給の緊急遮断が行われたため、復旧作業は、多くの患者様が入院されている附属病院から優先的に行われました。今回の地震は震度5弱であったため、医学部附属病院にのみ災害対策本部が設置されましたが、大学全体の状況を把握するため、学長ほか教員らはしばらく待機の後解散しました。幸いにもライフラインに被害がなく、大きな混乱はありませんでした。被害状況の収集や初期対応の体制について十分とは言えませんが、迅速な対応ができました。

お知らせ&ご報告

国際交流センターから

下記の研修が実施されました。

<p>《タスマニア大学語学研修》</p> <p>○日 時：2月17日～3月17日</p> <p>○場 所：タスマニア大学（オーストラリア）</p> <p>○参加人数：20名</p> <p>○コーディネーター：花見楨子教授・国際交流センター</p>	<p>《エアランゲン・ニュルンベルク大学語学研修》</p> <p>○日 時：2月18日～3月19日</p> <p>○場 所：エアランゲン・ニュルンベルク大学（ドイツ）</p> <p>○参加人数：8名</p> <p>○コーディネーター：大河内朋子教授・人文学部</p>	<p>《第4回天津師範大学短期語学研修&文化交流》</p> <p>○日 時：3月5日～3月19日</p> <p>○場 所：天津師範大学（中国）</p> <p>○参加人数：22名</p> <p>○コーディネーター：別府直苗講師・教育学部</p>	<p>《国際交流センター日本語研修コース（第20期生）開講式》</p> <p>○日 時：4月12日</p> <p>○場 所：国際交流センター会議室</p> <p>○参加人数：研修生6名、教職員12名</p> <p>○コーディネーター：高澤信子講師・国際交流センター</p>
---	---	---	--

広報チームから

《三重大学入学お祝いまんじゅう》

4月9日の入学式当日、本学のシンボルマークと広報誌のキャラクター「えっくすくん」の焼印が入った紅白まんじゅうが販売されました。これは、広報委員会が企画・（株）益屋本店（伊勢市）が製造・大学生協が販売と、三者が連携したものです。事前予約販売では早々と予定数を超え、新聞でも大きく取り上げられるなど、企画は大成功でした。



《三重大学公式ホームページをリニューアル》

4月16日より、三重大学公式ホームページをリニューアルしました。「ホームページを訪問された皆様方にとって、より使い勝手がよくなるように」を目標にワーキンググループを設置して設計を心がけました。今後とも本ホームページをご活用いただきますようお願い申し上げます。

投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュースの提供をお待ちしています。小林英雄（kobayashi@mie-u.ac.jp）または井上真理子（mariko-i@ab.mie-u.ac.jp）まで。場合によっては、取材に向きます。《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページ（<http://www.mie-u.ac.jp>）をご覧ください。》編集責任者/理事・事務局長 三浦春政

